～江府町内の“あげなこと”
“こげなこと”をお届けしたい～
・・・そんな思いから始めました♪

9月号

令和７年９月１０日発行
[発行元]ＮＰＯ法人こうふのたより
[編集長]　上野 真
掲載記事等に関するお問い合わせ
☎080－3011－5506（上野）

こうふのたより

＝ チラシブック<Vol.95> ＝

＊タイトル【別府弁天池】
先日訪れた山口県美祢市にある弁天池を描きました。エメラルドブルーの神秘的な色と、地下から湧き続ける水のエネルギーに涼しさと癒しを感じていただけたらと思います。【イラスト・後藤広樹】

＝ 編集後記 ＝

畔の草刈りを終え、久しぶりに実家の庭で缶ビールを開けた。母屋の裏で、九十二歳になる親父が風呂場の床を直している。木材を前にすると年齢を忘れてしまうらしい。この家は築百五十年を迎えた古民家。私で五代目。長い時間を受け継いできた家に、今年の夏は初めてクーラーを設置した。家も身体も、長持ちするには手をかけることが欠かせない。修繕仕事に汗を流す親父の姿を見ながら、そのことをあらためて思う。（真）

※本誌掲載の写真、イラスト及び記事の無断転載を禁じます。

スーパーマーケット えんちゃん

実りの秋に、地域の笑顔をつなぐ。
みんなが集まる、えんちゃん秋祭り！
家族も友だちも、みんなでホッと楽しもう。
※ご近所 30 人ほどで楽しむ、小さな手づくりのお祭りです。

わくわく土曜祭り

WakuWaku Saturday Festival

Vol.2

お子様ジュース無料
（小学生以下）

こんな方どうぞ！

- 家族でふらっと夜ごはん
- 近所の仲間と乾杯！
- カラオケで一曲チャレンジ
- 子どもと一緒にお祭り体験

9/20㊏

17:30~20:30
（ラストオーダー 20:00）

えんちゃん
LINE 公式アカウント
友達募集！

会場 / えんちゃん佐川店特設会場（江府町佐川 870）
問合せ / TEL75-2328
P 駐車場は道の駅奥大山をご利用ください。

FOOD & DRINK

※店内商品も購入OK

- 人気商品 焼きそば
- たこやき　各￥400-
- 人気商品 からあげ

- 焼き鳥　￥300-

- フライドポテト
- 人気商品 フランクフルト　各￥200-
- 枝豆などおつまみ

- 人気商品 生ビール　￥500-

- チューハイ
- ワイン　各￥300-
- ノンアルコール

- ソフトドリンク　￥200-

17:30~
子どもコーナー

- くじ引き
- 型抜き
（景品：お菓子）

18:30~
ミニカラオケ大会
KaraOKe NIGHT
歌声でつながる地域の夜！
（参加賞あり！）

主催　合同会社えんちゃん

協力　江府町観光協会
道の駅奥大山連絡協議会

【ご来場のみなさまへ】
・お車でお越しの方は、会場ではソフトドリンクなどで楽しく乾杯をお願いします。
・小さなお子さまも保護者の方と一緒に、安心して会場をお楽しみください。
・混雑時は立ち飲みやテイクアウトも活用して、みんなで快適に楽しみましょう。
・飲食は会場のメニューをご利用いただくと、よりイベントを満喫できます。
・会場内ではお荷物の管理をお願いします。安全に楽しむためにご協力ください。

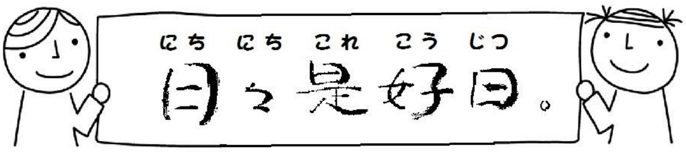
café 碧の空

日南町大宮地区
「手仕事グループ陽だまり」展
9/2(火)～20(土)

next
上野真
「心に刻まれた思い出」展
9/30(火)～10/18(土)

定休日 日・月・不定休　営業時間 10:00～16:00

〒689-4401 日野郡江府町江尾 1971-1　Tel. 0859-75-2077



◆コラムを書くと言ってはみたものの。その９０（まさか、ここまで続けるとはねー 笑）◆

･･･『コラムを書くと言ってはみたものの』。なんだかんだで、70回も続いてしまった。熱しやすく冷めやすい、集中力に乏しく、ノリと勢いだけで瞬発的に行動する（その結果、失敗して周囲にかけた迷惑は数知れず↓）…半世紀以上、その生き方こそが「継続は力なり」と思ってきた私が、6年近くもの長い間、時に沸騰し、時に平温にもどり、このコラムを書き続けている。

７０回『節目』のここに書いた語り始め。自分自身の性質とその言動は、今も何一つ変化していない。つまりは、分別のある『おせ』たり得ていないと言うことだ。これを、いつまでも挑戦する姿勢、好奇心旺盛、飽くなき探究心…などと前向きに表現したいところだが、残念ながら、「ただ気分のおもむくままに、フラフラと」生きている→結果＝冒頭に書いたとおり…泣。おそらく、死ぬまでこのままで、自分の思う『おせ』に到達することはない（間違いなく）であろうと、だんだん確信に近づいてきましたが、せめて周囲に『害をもたらす老い』だけは発すまいと自らを律する昨今です。

さて。そんなことを思いながらの先日。３ヶ月以上前から密かに「ここ、休みたいよ！」をアピールし、心待ちにしていた『イベント』を満喫した。名付けて、日本伝統芸能にヒタヒタおひとりさまツアー。当初は、夜に出かけるだけのものだったが、早い梅雨明けあたりに仕入れたニュースにより気になり始め、久しぶりに足を運んでみようと思い立っていたその場所に、昼間出かけた（野球で言うところのダブルヘッダーというやつ。昔、よくやりました笑）。…私の行動などどうでもいいみなさまに、ここまで引っ張ってしまったが、この日、昼間は今話題の映画『国宝』、夜は『野村万作・萬斎狂言公演』と、どっぷり伝統芸能にのめり込んだ。

まず昼間。もともと（一度も劇場体験はないものの）歌舞伎は好きで『古典芸能への招待』などでよく鑑賞するが、私の趣味空間には「映画館で映画を観る」…は存在しない（思い返してみると、映画館というところに足を運んだのは『崖の上のポニョ』以来でした）。この映画が話題になってテレビやネットで取り上げられ、私がまずしたことは「原作を読む」。行きつけのあそこでポチると、翌日には、映画仕様のダブルカバーをまとった文庫（上下巻）が届き、その扉を開けてからたぶん時間換算すると１０時間くらいで一気読み…先が気になって眠れんというやばい状態で。この時点で心は「映画行こう」モードに近づいていたが、決定的ゾーンに入ったのは、テレビでこの映画の衣装監修をした小川久美子さんの特集番組を見てからだった。「映画衣装の大きな役割は、人物のキャラクターと時代の変遷を表現すること。そして画面の色彩構成が大事だと考えている」と言う小川さんは、なんと、歌舞伎の劇場で観客の役をするエキストラ…その１人１人の衣装をも全て自分の目と手で監修したと語られた。変わり者の代表（私です）が、それを自分の目で確かめたくなったのはここで語るまでもなく。…その日。お気に入りのワンピースを着て（履き物はトレードマークの下駄。笑）さっそうと出発。あ、思えばイオンに１人で行くのは初めてだなー。てか、今の映画館のしきたりは？などと、ドキドキしながら相棒を駐車場に停め、平静を装ってシアターへ向かう。初めて足を踏み入れたその場所で、まず「ここはどこ？私は誰？」状態、発券のシステムに目もくれず、発券してくれるであろうおばちゃんの元へ直進したことは言うまでもありません。…さあ、この後どうなる？続きは次回で。笑【いくたしほ】